

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもプラス兵庫教室		公表日		2026年3月16日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・自主活動の時間に時間がある時は、外に出でのびのび過ごすことができている。 ・運動と勉強するスペースを分けている。	・適切だがもう少し広いと活動しやすいため、配置を見直し、ホールを広く使えるようにしていく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・利用の人数に応じて職員配置を調整している。 ・個別支援が必要な時は、職員間で連携を取って支援を行うことが出来ている。 ・子どもの状態によって役割分担をしている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・危険個所にはコーナガードを付けている。 ・絵カードや写真、ホワイトボードを活用し、視覚的に環境を整えている。 ・車椅子の介助もしやすい。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日掃除、消毒を徹底している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・別室でも支援ができるよう、環境を整えている。 ・子どもの状態に合わせて使用できるようにしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・毎日児童の様子をミーティングで共有の上、対応している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・毎年行い、意見をもとに改善している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・ミーティングで気になることを伝えあったり、細かく情報共有をおこなったりしている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・毎月研修を受講する機会が設けられており、職員の資質向上を図ることができている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・ホームページで公表されている。 ・職員全体で把握している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・保護者のニーズや普段接する中で気になっている点を踏まえて計画を立てている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・ミーティング内で話し合いの場を設け、情報交換をおこない、共通理解の下、支援を行うことができている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・どのように支援を行うのかなどを話し合っで支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・ホワイトボードや絵カード等を使用して支援を行っている。 ・子どもたちの現状把握に努めている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・不得意などころの改善が見られるよう、計画を立て支援を行っている。 ・児童のアセスメントなどを基にして設定できている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・ミーティング内で話し合いを行い、毎月目標を設定してプログラムを立案している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・記録を基に工夫している。 ・児童が楽しめるようなプログラムになるように設定している。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・子どもの姿に応じて個々と集団を組み合わせながらおこなっている。 ・集団活動が難しい児童には職員が傍について支援している。			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・長期休暇の期間はできないこともあるが、ミーティングや朝の準備の時間に打ち合わせをし、役割を明確にして支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・毎日送迎後にその日の児童の様子や保護者からの連絡事項、車内での様子を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・毎日記録を取り、職員間で共有し支援の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・定期的にモニタリングを行い、保護者に説明を行ったり、意見を取り入れている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	・自主活動や日常生活の充実など複数を組み合わせた支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・児童の選択の幅を広げたりして支援を行い、意見を尊重している。 ・その子や年齢のレベルに合わせて適切な支	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者が参加し、会議で話し合ったことを全職員に共有をおこなっている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・学校の先生と情報共有をおこなったり、必要に応じて訪問し、子どもの様子を見ている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・協力的な学校が多いため、適宜行うことができおり、学校からの配布プリント等でも把握することができている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	・必要に応じて情報共有をおこなうことができている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・必要に応じて行うことができている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		・行うことができていないため、今後検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・外部イベントへの参加や公園などで地域との交流をおこなっている。	・交流の機会が少ないため、積極的におこなってきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		・今後は積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎の際に、子どもの状況について写真をつけるなど工夫し、細かく伝えるようにしている。また、LINE、ノートでのやりとりもよく行い、情報共有をおこなうことができている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・丁寧に正確な情報を伝えるようにしている。 ・対応の仕方についてうまくいっていることは情報提供している。 ・事業所内で家族支援を行っている	・今後、研修会の情報提供をおこなっていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・その都度説明をおこない、変更点が出た際も丁寧に伝えるようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・保護者や児童との信頼関係を大切にしており、意思を尊重し、サービス提供しているため、保護者からの理解がある。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・支援内容を説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・話し合いの場を設け、LINE、電話で受け付けている。 ・保護者からの相談もよくあり、情報を伝えて相談がある際には来所してもらい、面談、助言、事業所での様子を伝えていく。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		・希望されない家庭が多かったため、行えていないが、今後検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・苦情はあっていないが、体制は整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・紙面だけでなく、ホームページとインスタグラムでも発信している。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・写真をInstagramに挙げる場合は、スタンプなどで顔や個人情報を隠して注意して取り扱っている。 ・鍵付きのロッカーに入れ、取扱いには注意を払っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・子どもたちが伝えたいことや、合図を見逃さないようにしている。 ・口頭が難しい場合は、書面で情報伝達をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・地域のイベントに行ける時には参加している。	・今後は教室のイベント等への招待を検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・しっかりと訓練を行い、様子を伝えている。プリントやSNSでも周知している。訓練の際には、起案書を作成して記録に残している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・地震火災など定期的に研修・訓練を行っている。 ・BCPを基に必要なものをそろえたり、避難経路を確認したりしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・アセスメントや聞き取りで確認し、把握している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・アレルギーの有無を確認し、診断書がある場合は提出をお願いしている。 ・おやつを持参してもらうなどアレルギー対策を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・研修と訓練を職員児童に向けて計画的に行われている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・プリント・お便りの配布、SNS等での発信を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・毎月2つ以上ヒヤリハットをあげ、些細なことでも共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・研修、振り返りを定期的におこない、共有をおこなっている。また対策がされている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・身体拘束が必要な子は現在いないが、堅守で検討をこない、対応について共有している。	